

遊歩一景

伊勢丘陵橋 (伊勢丘学区)

陸橋は
暮らしを支えた
縦貫道
渡つてつむぐ
夢・未来



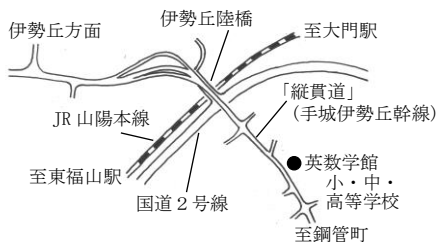
他の写真
・資料 →



国道2号線から伊勢丘団地に入る三さ路の真上に「伊勢丘陵橋」があります。これは、伊勢丘方面と旭丘方面を結ぶ道路の一部で、橋の下は山陽本線と国道2号線が通っています。

1965年、旧日本鋼管（現JFE）が操業すると伊勢丘周辺は急激に人口が増えました。当時社員だった人の話では「バスを利用する人が多かったが、近道がなく便も少なくて通勤に苦労した」そうです。そこで、要望を受けた福山市が道路を建設、1972年に陸橋ができました。製鉄所まで貫かれた道は「縦貫道」と呼ばれ、バスの路線にもなり便利になったそうです。やがて、周囲に病院やスポーツ施設などが建ちさらに便利に。陸橋の両端には、国道や住宅地をつなぐ階段がいくつもあり地域の暮らしに欠かせない橋なのでしょう。

1980年代以後は「マイカー通勤」が増えたので、今では陸橋を渡るバスは少なくなりましたが、自動車や周辺の学校へ通学する自転車など、多くの方が陸橋を利用しています。



東部いれこみ情報

学習情報
No.261
6月号

2023年(令和5年)6月1日

発行 東部地域振興課

住所 〒721-0915 福山市伊勢丘6-6-1

電話 940-2574 FAX 947-5658

カラーは 福山市東部地域振興課

ホームページで 検索・QRコード



YouTube・トーチューブ

ばら苗配布 東部は6月17日(土)

ばら苗の配布を、東部市民センターは6月17日(土)に行います。(申込み受付は終了しました。)



東部市民センターでは、独自のドライブスルー方式で配布しています。そこで、ばら苗を受け取る順路や注意点などを動画で紹介します。東部市民センターで、ばら苗を受け取る方はご覧いただきご確認ください。

●配信 **6月5日(月)** 9時～

●動画サイト **YouTube**

●チャンネル **TouTube.F**

●問合せ先 **東部地域振興課**

電話：084-940-2574

FAX：084-947-5658

メール： ↓ ↓ ↓

toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



企画展

6月は「環境月間」です

●期間 **6月1日(木)**
～ **6月30日(金)**

●場所 **東部市民センター
1階 市民サロン**

6月5日の「世界環境デー」にちなみ、日本は、6月を「環境月間」としています。私たち一人ひとりが分別や3R(リデュース・リユース・リサイクル)に取り組むことでごみの量を減らすことができます。私たちの暮らしと深く結びついている環境問題について、一緒に考えましょう。

主催・問合せ先 東部地域振興課
電話 084-940-2574
FAX 084-947-5658

「高めあう 人権感覚 確かな未来」



日吉台くらぶ オープンカフェ

～心地よい風と綺麗なばらを見ながらティータイム～

5月14日(日)に日吉台学区では、日吉台くらぶ(休園中の日吉台幼稚園)で「ばらの香りが漂うオープンカフェ」を初めて開催しました。“みんなで時を取り戻そう”を合言葉に子どもからおとなまで多くの人が集い、地域で育てた満開のばらを見ながら楽しいティータイムを過ごしました。

会場内では「ばらの育て方相談」や「折りばら体験」、「絵本・お絵かき」のコーナーが設けられ、ばらへの興味や関心を深める良い機会にもなりました。



日吉台くらぶは「珈琲サロン『憩い』」や「健康教室」、高齢者の買い物、通院等の外出支援を行う「お出かけ支援事業」の拠点施設になっています。

コロナ禍の約3年間は十分な活動ができずに高齢者の孤立化や健康不安が増すなどの影響が心配されていました。

初めてのオープンカフェを皮切りに、“日吉台くらぶに再び活気と賑わいを取り戻そう”という地域の皆さんの熱い想いが溢れた1日でした。



「ばら花壇コンクール」で東部管内の3団体が大賞を受賞！

●緑丘学区まちづくり推進委員会 「高屋ばら花壇」

2年連続の大賞受賞となった、緑丘学区まちづくり推進委員会「高屋ばら花壇」では、現在約150本のばらを地域の皆さんとボランティアの方がお世話をしています。

管理をしている大谷さんは「この受賞を糧にして、2025年の世界バラ会議にむけ、ばら花壇にもっと来てもらえるよう、みんなでアイデアを出し合いながら楽しく世話をしている。」と受賞を喜んでおられました。

●蔵王小学校

蔵王小学校では、現在約140本のばらを5・6年生と地域の方がお世話をしています。

大河原教頭先生は「今後、ばら花壇を教育活動に活かしながら、はねおどりや学区の史跡などの文化や歴史の発信に繋げていきたい。」と

話されていました。

●広島大学附属福山中・高等学校

広島大学附属福山中・高等学校では、校内に約300本、通学路沿いに約200本のばらを植えています。

ばらの管理をしている橋本さんは「通学路沿いのばら花壇の世話をしていると地域の方や子どもたちから元気な挨拶をもらい、やりがいにつながっている。2025年の世界バラ会議には、もっときれいな花壇にしていきたい。」と意気込んでいました。



写真は左から、緑丘学区「高屋ばら花壇」、蔵王小学校、広島大学附属福山中・高等学校

その他の写真はこちら⇒



緑丘交流館

みんなで話しませんか？

「支援からみえてきたこと」

【日 時】6月15日(木)

13時30分～15時

【内 容】ウクライナからの避難ファミリーへの支援や、海外での交流について

【講 師】齊藤 かおりさん

(子育て支援/国際交流/高齢者の見守り)

【定 員】20人

【おやつ代】100円

【申し込み締め切り】6月8日(木)

【会場・申し込み・問い合わせ先】緑丘交流館 084-943-5495

「多文化共生はまちづくり」

～やさしい日本語について知ろう～

【日 時】6月24日(土)

9時30分～11時

【内 容】多文化共生のお話と、デンロン(中国の吊るし飾り)の折り方

【講 師】客本 牧子さん

(福山市中国帰国者をささえる会代表)

【定 員】10人

【材料費】100円

【申し込み締め切り】6月16日(金)

春日学区

2023 春日学区ふれあい講演会

110歳まで歩ける体づくり

～健康寿命を延ばす簡単筋トレ法～

【日 時】7月1日(土)

13時30分～15時

【会 場】春日小学校 体育館

【講 師】谷本道哉さん

(順天堂大学先任准教授・日本オリンピック委員会医科学スタッフ・日本ボディビル連盟医科学委員)

【持参物】スリッパ

【問い合わせ先】

春日交流館 084-947-4491

伊勢丘交流館

脱！コロナ生活「じぶんケア」③

福祉用具について知ろう

【日 時】7月5日(水) 10時～11時

【内 容】歩行補助・移動支援・入浴支援。介護保険制度も併せて学びます。

【講 師】千葉 洋三 さん

(日本基準寝具(株)エコール事業部)

【定 員】20人

【会場・申し込み・問い合わせ先】

伊勢丘交流館 084-947-0511

春日コミュニティ館

かすがサロン「多肉植物の寄せ植え」

【日 時】7月14日(金) (容器作り)

7月21日(金) (寄せ植え)

10時～11時30分

*寄せ植えの日だけの参加でもかまいません

【定 員】15人

【材料費】500円程度

【持参物】ピンセット・ふきん

【会場・申込み・問い合わせ先】

春日コミュニティ館 084-943-2531

東部図書館からのお知らせ

展示「できることから始める防災のススメ
～大雨・台風に気をつけよう」

【日 時】6月21日(水)～7月17日(月)

【場 所】東部図書館 1階フロアー

サロンコンサート

【日 時】6月27日(火) 14時～14時30分

【場 所】東部図書館 2階集会室

【内 容】バイオリンの演奏

【出 演】アンサンブルきらら

【問い合わせ先】

東部図書館 084-940-2575

特集「人権・多様性社会」について考える その3

「シトラスリボン」でコロナ差別防止 呼びかけ

〈緑丘学区〉

「シトラスリボン」は、新型コロナウイルス感染者や医療従事者に対する人権侵害が多く発生していた時に、それらを防止する取組のシンボルとして、愛媛県で生まれました。特産品である柑橘（シトラス）にちなんでおり、リボンの3つの輪は地域・家庭・職場や学校を表しています。

リボンをつけることにより、もし感染したとしても地域で「ただいま」「おかえり」という気持ちを広げていこうというプロジェクトです。



学習から行動へ

昨年度、緑丘学区の住民学習会で「シトラスリボン」の取組を紹介した教材を使用しました。高屋市営住宅で開催した学習会に学区人権学習推

進協議会の坂本会長が「シトラスリボン」を付けたマイバッグを持参され、リボンの実物を参加者の皆さんに紹介しました。その際に「みんなで作ってみたい」という意見が出されたのを受け、後日地域のサロン活動で作成することになり、理解の輪が広がりました。

このように、学習したことが行動へとつながるのは小さなきっかけからなのかもしれません。私たちの身近なところにも出来ることはたくさんあります。一人ひとりの気づきや意識の変化が大きな動きとなり、社会全体を変えていくことができるのではないのでしょうか。

「人権・多様性社会」を考える機会に

「東部入れこみ情報」では、「人権・多様性社会」について特集記事を連載します。考え合う機会としてお読みいただけましたら幸いです。

東部市民センター ホールボランティアを募集します

東部市民センターで3月に開催されるイベント「ふくやま東部文化フェスタ2024」の開催に向け、ステージを運営するホールボランティアを募集します。



ふくやま東部文化フェスタ 2023の様子

月に1回程度の研修を重ね本番を迎えるよう計画しています。学んだ経験は、地域や学校のステージ運営にもきっと役立つと思います。興味のある方のお申込みをお待ちしています。

- 内容
音響 照明 ステージ設置などの研修
- 研修日
概ね毎月第3火曜日 19時～20時
- 申込み・お問合せ先
東部地域振興課
電話 084-940-2574
FAX 084-947-5658
Mail toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp

桜のよよぎ

地域や学校に「フル規格」の運動会が戻ってきました。スタートに立つ緊張感、湧き上がる拍手と歓声、各所に陣取るカメラやビデオ。どれもこの日を待ちわびた気持ちの表れでしょう。

勝利を目指し全力で疾走する姿や息の合ったチームワークは、まさに運動会の見どころかと…。その他にも、別の見どころとして忘れられない競技が幾つもあります。

リレー…。あるクラスで、車いすの子が「僕もリレーに出たい」と打ち明けました。「勝ちたい」「気持ちいはわかる…」みんな一週間話し合い悩み続けた結果、車いすの子を応援しようと決めました。

大縄跳び…。運動がすごく苦手な子を励まし、早朝や放課後にみんなが集まって練習した日々。どちらも勝利に至らなくとも、涙が止まらないほどの感動をいただきました。

さまざまな価値観を受け入れたら、選手それぞれの「一生懸命」に気付きキラキラ輝いて見えるかと…。運動会は、そんな見どころも大切にしたいものです。

